

参加費無料
事前申し込み必要

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

子どもたちと一緒に考える被災地の復興支援

東日本大震災後3年8か月がすぎた今、子どもたちの故郷である被災地はかさ上げによって以前の姿を消し、ブルドーザーや重機の騒音の中で暮らしを余儀なくされる毎日です。今こそ、この復興がどこに向かうのか、何をどのようにつくり替えようとしているのかを子どもたちは一緒に実感しなければならない時期です。一刻も猶予のない子どもたちは何を感じ、自分の歩みをどのように続けているのでしょうか。そうした子どもたちに今後、私たちは何を支援しなければならないのでしょうか。

私たちは、子どもの声を大切に、被災地域の復興に子どもの声を反映させるためのあり方を、2011年から被災地の子どもたちと一緒に考え進めてきました。子どもたちは、東京の同世代や大学生、おとなたちに語ることで、新しい自分を見つけていきます。最初に上京して語ってくれた子どもたちが高校3年生になり、来てくれます。

今年は被災地の子どもたちが、全員で支援をしてきた大学生と一緒に語ります。

私たちおとなは、その意見を聴き、新たな段階に入っている被災地支援について、子どもたちと一緒に考え、提言をしていきたいと思えます。ぜひ、ご参集ください。

【日時】2015年1月11日(日)10時～12時

【場所】東洋大学 白山校舎 8号館 7階 125 記念ホール (東京都文京区白山 5-28-20)

* 正門左の白山通りに面した8号館玄関を入り、右手にある7階直通のエレベーターをご利用ください。

都営地下鉄三田線白山駅 A3 出口より徒歩5分 / 東京メトロ南北線本駒込駅 1 番出口より徒歩5分

【主催】NPO子どもの権利条約総合研究所

【問い合わせ】東洋大学白山校舎 森田明美研究室

TEL・FAX 03-3945-7481 E-mail :morita@toyo.jp

【後援】東洋大学社会学部